

軌道法案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 伯爵松木 宗隆君
副委員長 男爵宇佐川 一正君
委員 子爵榎本 武憲君
子爵大給 近孝君
男爵神山 郡昭君
石黒 五十二君
安樂 兼道君
岡田 文次君
麻生 太吉君

大正十年三月二十二日(火曜日)午後一時十四分開會

○委員長(伯爵松木宗隆君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○政府委員(堀田貢君) 此軌道法案提出ノ大體ノ理由ニ付キマシテハ既ニ本會ニ於テ内務大臣ヨリ御説明申上タメデアリマス、尙ホ私ハ少シク具體的ニ本法案提出ノ理由並ニ此法案中ノ重ナル箇條ニ付イテ改正ノ要旨、制定ノ要旨ヲ申上ゲテ見タイト思フデアリマス、我國ニ於ケル軌道事業ノ現況ヲ見マスルノニ、既ニ開業シタルモノガ千三百四哩、未開業ノモノ七百哩ノ多キニ達シテ居リマス、而シテ是等ノ事業ニ對スル投資約五億六千餘萬圓ノ巨額ニ上ツテ居ル次第デアリマス、而シテ道路交通ノ補助機關トシテ都市交通ノ、將又地方交通ノ極メテ重要ノ地位ヲ占メテ居リマス、益々之ガ發達ヲ助長シ、其監督ヲ嚴重ニスルコトガ國家ノ緊要ナル事柄デアラウト考ヘテ居ルデアリマス、現行軌道條例ハ是モ本會ニ於テ内務大臣ヨリ申上ゲマシタ通り明治二十三年ノ制定ニ依ツテ居リマシテ、其中ニ定ムル項條僅カニ五箇條ニ過ギナイデアリマス、之ガ運用ニ關シテハ當時地方長官ニ訓令イタシマシタ軌道條例取扱方心

得ト云フモノニ依リマシテ其出願ノ手續ヲ定メ、軌道特許ニ當ツテ道路ニ關スル費用負擔團體ノ意見ヲ徵セシムル外ハ運輸運轉ニ關シテ一定ノ標準ヲ定メタモノニ過ギヌデアリマス、從ツテ此特許ニ關スル權利義務ノ如キハ特許處分ヲ爲ス際ニ、其處分ニ付シタル命令書ニ依ルノ外何等ノ規定ハ存在シナイデアリマス、故ニ一部軌道事業ヲ經營スルモノ、不利不便ニ止マリマセズ、其法律關係ガ動モスレバ明確ヲ缺ク次第デアリマシテ、殊ニ此命令違反ニ對シテ精細ヲ缺イテ居リマスルカラ、軌道監督ノ上カラ見マシテモ遺憾ノ點ガ少ナカッタデアリマス、先キニ道路法及此地方鐵道法ガ制定セラレテ、道路管理人ハ地方行政廳ノ權限ニ屬セシメタデアリマスルカラ、之ト道路ノ交通ヲ助成スベキ軌道經營ノ爲ニスル道路ヲ占有シテ道路工事トノ調和ヲ圖リ、道路ノ管理ト軌道資本トノ關係ヲ明確ナラシメ、兩者相待ツテ一般交通ノ完全ヲ期シタイト考ヘ、又其事業ノ經營ニ關シマシテハ地方鐵道法ト同一ノ趣旨ヲ以チマシテ、其經營ヲ容易ナラシメ、益々軌道事業ヲ助長シマシテ時運ノ伸展ニ備フル必要アリト認メマシテ、今同此法律案ヲ提出シマシタ次第デアリマス、本法案ハ全部通ジテ三十二箇條及附則ヨリ成立ツテ居リマス、今主ナル點ニ付キマシテ説明ヲ申上ゲテ見タイト思フデアリマス、從來此軌道ト鐵道トノ區別ニ關シテハ頗ル明確ヲ缺キタル嫌ガアリマス、本法ニ於テハ軌道本來ノ性質ニ鑑ミマシテ、特別ノ理由アルニ非ズンバ道路上ニ敷設スルモノデアルト云フコトヲ第二條デ明示シタデアリマス、サウシテ地方鐵道トノ區別ヲ茲ニ明瞭ニナサシメタデアリマス、尙ホ從來此地方ノ取締ニ放任シテ居リマシタ私人占有ノ軌道モ之ヲ道路上ニ敷設スル點ニ於キマシテハ、一般交通ノ要ニ供スル軌道ト相違フ所ガアリマセズ、道路交通ト密接ノ關係ヲ有シテ居リマスルノデ、之ヲ統一シ

テ取締ルコト、致シマシタ、是ガ第一條ノ第二項、ソレカラ軌道敷設ノ爲ニスル道路ノ占有及ビ是ガ爲メ必要ヲ生ジタル道路ニ關スル工事モ道路法ニ所謂道路ノ占有及ビ道路工事ト云フベキモノデアリマスルカラ、是ガ許可ノ如キハ本來ハ道路管理者ノ權限ニ屬スベキモノデアリマスルケレドモ、多數ノ道路管理者ノ許可ヲ受ケシメルト云フコトハ軌道經營者ノ到底堪ヘル所デアリマセヌノデ、道路法ノ特別規定ヲ設ケテ、主務大臣ノ特許又ハ工事施行ノ認可ヲ以テ之ニ代ラシマシテ、ソレト共ニ從來此地方長官ノ權限ニ屬シテ居リマシタ工事施行認可ヲ主務大臣ノ職權ニ移シマシテ、又一個ノ事件ニシテ本法ト他ノ法令トニ依リマシテ格別ノ手續キヲナサシメテ居リマシタ手數ヲ避ケマシテ事務ノ簡捷ヲ期シタデアリマスルガ、是ガ第四條乃至第六條ニ其コトヲ規定シタル次第デアリマス、尙ホ軌道敷設ノ爲ニ致シマスルト專用料ノ徵收、是ハ軌道經營者ノ敷設イタシマシタ道路工事ノ程度及ビ軌道經營者ノ經濟狀態ヲ斟酌スルノ必要ガアリマスルノデ、之ニ關シテハ命令ヲ以テ徵收ヲ制限スルノ途ヲ設ケタデアリマス、ソレガ第四條第二項ガ其規定デアリマス、ソレカラ軌道工事ト道路工事トト合セ執行スルコトガ經濟上並ニ技術上得策トスル場合ガアリマスルノデ是ハ其場合ニハ道路管理者ニ於テ軌道工事ヲモ合セ執行スルノ途ヲ開キマシタ、ソレガ第八條、第十二條ガ其關係ノ規定デアリマス、ソレカラ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ利用シテ道路ヲ開設スルト云フコトハ單リ道路管理者ノ利益ノミニ止マラズ、軌道經營者ニ於テモ利益トスル場合ガアリマスルノデ、之ヲ道路ニ共用スルノ途ヲ設ケマシテ、以テ道路ト軌道經營トノ調和ヲ圖ツタ次第デアリマス、殊ニ此十三條、十四條等ニ於テハ此軌道事業ノ安固ヲ圖ル一ツノ規定ヲ置イタデアリマス、ソレハ詰リ監督ヲ嚴重ニシテ交通運搬上生ズ

ベキ危險ヲ事前ニ防止シナケレバナラヌ所カラ此軌道ノ設備、事業ノ狀況ヲ監督セシムルノ途ヲ開キマシテ、又軌道ノ建設運輸運轉等ニ關シマシテ詳細ナル規程ヲ定メテ、之ニ服從セシムルノ途ヲ講ジタノデアリマス、次ニ十五條デハ此特許ニ依リテ生ズル權利ノ移轉ヲ認メマシタノデアリマス、次ニ十六條デハ軌道事業若クハ運轉ノ管理ノ委託ヲ許シテ、其管理ニ關スル責任ノ所屬ヲ明ニ致シマシテ、更ニ其次ニ軌道事業ノ如キ一般交通ヲ助成セシムベキ關係ハ公共團體ニ於テ經營セシムルコトガ公益上得策ト認メル場合ガ多クアルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ國又ハ公共團體ニ於テ軌道ヲ強制シテ買收スルコトガ出來ルヤウニ規定ヲ置イタノデアリマス、斯クシテ一般公衆ノ利益ヲ圖ルト同時ニ其買收價格ニ關シテモ相當調査ノ途ヲ講ズル爲メ相當ノ規定ヲ置イタル次第デアリマス、ソレガ十九條等ガソレデアリマス、ソレカラ又此軌道經營者ノ兼業ニ屬スル資産及ビ軌道經營ニ必要ナル貯藏物品、此強制買收ヲ一面ニ於テ認ルト同時ニ他ノ一面ニ於テハ軌道經營者ノ買收請求權ヲ認メルノ必要アリト考ヘマシテ、第二十條ニ其意味ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ軌道利用ハ一般營利事業ト其趣ヲ異ニ致シマシテ、地方鐵道ト同様ニ公共的ノ施設デアリマスカラ、是ガ事業ノ助長ヲ圖リ、其事業ノ監督ヲ嚴重ニシタルガ爲ニ、其經濟的地位ハ他ノ會社ニ比較イタシマシテ極メテ安固デアルト言ハナケレバナリマイト思フノデアリマス、依ッテ大體地方鐵道會社ニ認メタル同様ニ軌道會社ノ第一回拂込ミ金額及ビ資本増加ノ方法、ソレカラ社債募集ニ關シテ商法ニ對スル特別ノ規定ヲ置キマシテ會社ノ成立ヲ容易ナラシメタノデアリマス、二十一條、二十六條ガ之ニ關係シテ居リマス、ソレカラ特許ニ依リテ生ズル權利關係ヲ實行セザルモノハ他ノ企業者ノ利益ヲ妨ゲ、一般交通ヲ阻害スルモノデアリマスカラ、是等ニ對シテハ第二十三條ニ於テ特許權執行ノ場合ヲ規定イタシタ、又軌道經營者ガ法規ニ違反シ、公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタル場合ニ

於テハ軌道事業ノ特許ヲ取消シ、又ハ他人ヲシテ經營セシメル途ヲ設ケマシタ、是ガ第二十七條、又從來ハ刑罰制裁ヲ缺イテ居リマシタカラシテ甚ダ監督上徹底セザル場合ガアリマスルノデ、今回ハ二十八條、二十九條ニ於テ是ガ罰則ヲ設ケテ軌道監督上遺憾ナキヲ期シタ次第デアリマス、終リニ近時科學ノ進歩ニ伴ヒマシテ、道路交通ニ從事スベキ機關ガ、次第ニ多キヲ加ヘテ、是等ノ道路交通上ニ於ケル關係ハ軌道ト選ブ所ガアリマセヌノデ、本法ノ規定ヲ準用スル途ヲ設ケタノデアリマス、其外、國ニ於テ軌道ヲ經營セムトスル場合ニ於テハ其關係タルヤ特許ト同様ナル關係ハ發生シマセヌノデアリマスガ、形ニ於テハ私人ノ企業ト違ハナイモノデアリマスカラ、是等ヲ統一シテ取扱フ必要ガアリマス爲ニ、主務大臣ニ協議スベキコトヲ二十條ニ定メタ次第デアリマス、大體只今申シマシタヤウナ次第デ、此法案ハ是非御一同ノ御賛成ヲ得テ法律ト致シタイト云フ熱心ナル希望ヲ有ツテ居ル次第デアリマスカラ、宜シク御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 御質問ガアリマスレバ、此際願ヒマス

○石黒五十二君 此命令ニ讓ツテアル廉ハ何箇條デゴザイマスカ

○政府委員(堀田貢君) 何箇條デアリマシタカ、御手許ヘ多分參考書トシテ差上ゲテアル筈デゴザイマスガ、軌道法附屬命令案ノ既要ト云フ、謄寫版ニシタモノヲ差上ゲテアル筈デアリマス

○男爵宇佐川一正君 參考書ヲ御廻シニナツタコトニ付テ、チヨット御尋ネ致シマス、軌道法附屬命令ノ概要ト云フノハ、今度此法案ガ發表ニナツタ以上ハ、之ヲ定メルト云フ御意見デアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) 御手許ニ差上ゲテアリマスノハ、勅令ヲ以テ云々ト云フ、サウ云フ場合ヲ豫想シテ詰リ其實質ニ於テハ、本法案ノ内容ヲ成スベキモノ、ソレヲ差上ゲテアリマスノデ、ソレト共外ニ、軌道法ヲ施行スルニ必要ナル命令ハ、此法案ガ成立イタシマスレバ、實施前ニ出ス考デアリマ

ス

○男爵宇佐川一正君 サウシマス、現行ノ取扱心得トカ云フヤウナモノガアリマスガ、アレハ自然廢止ニナル譯デアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) アレハ廢止ニナルコトニナリマス

○男爵宇佐川一正君 第一條ノ第二項ニ「一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關フル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、一般交通ノ用ニ供スル爲ニ敷設スル軌道ニ對シテモ、無論命令……此御命令ナドハ附隨シナケレバナラヌヤウニ考ヘラレルノデスガ、ドウ云フモノデアリマスカ、チヨット意味ガ分リ兼ねマスガ……

○政府委員(堀田貢君) 此軌道法ハ一般交通ノ用ニ供スル爲ニ敷設スル軌道ニ之ヲ適用スルト云フ案ハ、本法ノ適用スベキ範圍ヲ限ツタノデアリマス、其外ニ一般交通ノ用ニ供セザル軌道ガ、從來ト雖モアツタノデアリマス、是ハ一般交通ノ用ニ供セザル軌道デアリマスカラ、格別公益上ニ重大ナル關係ガナイト云フノデ、各地方ノ警察取締ニ一任シテ來タノデアリマス、併シ、軌道ガ道路ノ補助機關タル性質ヲ有スル以上ハ私人專用ノモノト雖モ相當監督ヲ爲ス必要ガアルト認メマシテ、今回命令ヲ以テ定メヤウト云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、其附屬命令ノ概要ハ御手許ニ差上ゲテアル筈デアリマス

○麻生太吉君 チヨット御尋ネ申シマス、第十九條ノ地方鐵道ノ第三十一條乃至第三十五條ト云フノハ、今回鐵道ノ改正ニナリマス、改正ニナツタモノヲ御出シニナツタモノデアリマスカ、或ハ元ノ三十五條ヲ適用サレル意味デゴザイマスカ、ソコガチヨットハッキリ致シマセヌガ……

○政府委員(堀田貢君) 只今御尋ネノ三十一條乃至三十五條ハ地方鐵道法ガ改正ニナリマスレバ、其改正サレタモノガ茲ニ準用サレルコトニナリマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 私ヨリチヨット御尋ネシマスガ、過日ノ本會議デ阪本君カラノ質問

デ補償契約ト云フモノガ、即チ地方ニ於テ稅ヲ課セ
ナイサウシテ會社ト契約シテ、相當ノ金額ヲ徵收
シテ居ルト云フ事實ガアルト云フコトデアリマシ
タガ、其補償契約ト云フモノハ、各地方ニ於テドウ
云フ工合ニ行ハレテ居ルモノデアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) アノ本會議軌道ニ於ケル
阪本君ノ質疑ハ各都市ニ於テ瓦斯デアルトカ、電
燈デアルトカ、又ハ軌道デアルトカ、サウ云フ風ナ
事業ヲ爲ス爲メニ市ノ施設シテ居リマスル道路ト
カ公園トカ、其他公ノ營造物ヲ使用スル場合ニ於
テ、其使ニ關聯シテ種々ナ此契約ヲ爲シテ居ル
デアッテ、ソレハ各都市及ビ各事業ニ付テ必ズシモ
一樣デアアリマセヌガ、要スルニ總括シタル所ヲ
申上ゲマスルト、此道路ナリ公園ナリ、其他ノ營造
物ヲ使用サスルニ付テ例ヘバ會社ガ増資サスル時
トカ、或ハ合併サスル時トカ云フノハ、市ノ同意ヲ
必要トスルトカ、或ハ或ル一定ノ率以上ノ配當ヲ
スルトキニハドウセイトカ、其他此道路ナリ其他
ノ營造物ノ使用トカニ直接關係ノナイコト迄モ、
其機會ニ於テ契約ヲシテ居ルノデアリマス、マヤ
一番大事ナ事柄ヲ取捨シマシタガ、使用サセルニ
付テ補償金トシテ一定ノ金額ヲ納付サセルト云フ
コトニシテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ斯
ウ云フ風ナ營造物ヲ一面ニ於テハ使ハセル其補償
代價トシテ一定ノ納代金ヲサセル、其他會社ノ營
業上ニモ種々ナル制限ヲ加ヘルトカ、斯ウ云フ風
ニナッテ居ルノデアリマス

○委員長(伯耆松木宗隆君) サウ致シマスルト、
其契約ト云フモノハ軌道法案トハ全然關係ノ無イ
モノデゴザイマスカ

○政府委員(堀田貢君) 此軌道法トハ關係アリマ
セヌノデス、何等直接ノ關係ヲ有チマセヌ、唯道路
法ト其關係ノアル箇條ガ往々ニシテアルノデアリ
マス、道路ノ專用ニ關聯シテ或ル契約ヲ結ンデ居
ルト云フ關係ガアリマスルノデ、從ッテ其契約ノ有
效無効ト云フヤウナ議論モ起ッテ參ルヤウナ次第
デアリマス

○男爵宇佐川一正君 此「主務大臣」トシテアリマ

スガ、是ハ軌道若クハ鐵道トシテ連接スルトカ、サ
ウ云フヤウナコトニ付テハ、內務大臣、鐵道大臣ニ
限ルノカ、此「前項以外ノモノ」ニ付テハ、內務大臣ノ
定ムル所ニ依ル「ト云フコトニナッテ居リマスガ、
此主務大臣ト云フノハ必ズ矢張り鐵道大臣ト內務
大臣トニ關係シテ居リマスルノデスカ

○政府委員(堀田貢君) 此法案デ主務大臣ト云フ
ノハ內務大臣、鐵道大臣、兩大臣ヲ指ス考デアリマ
ス、成ホド此附屬命令ノ概要ノ中ニ「前項以外ノモ
ノ」ニ付テハ、內務大臣ノ定ムル所ニ依ル「ト云フヤ
ウナコトガアリマス、ソレデ唯今ノ御質疑ガ起ッ
コトト存ジマスガ、一般交通ノ用ニ供スル鐵道又
ハ軌道ニ接續スルモノニ付テハ、是ハ道路ノ方ノ關
係、道路交通ノ關係、ソレカラ運輸事業ノ關係等カ
ラシテ內務鐵道兩大臣ノ許可ヲ受ケシムル必要ガ
アラウト思フノデアリマスガ、此專用ノモノデ鐵
道又ハ軌道ニ接續セザルモノ、是ハ先刻モ申上ゲ
マシタ通り從來單ニ地方ノ警察官署限リヤッテ居
タト云フヤウナモノデアリマスルカラ、警察命令
デヤッテ居ッタヤウナ事柄デアリマスルカラ、單ニ
保安上ノ取締上ダケヲ爲スガ宜イト云フ考デ、內
務大臣ノ定ムル所ニ依ルト云フヤウナ命令ノ概要
ヲ規定シテ差上ゲテ置イタ次第デアリマス

○石黒五十二君 參考ノ爲メニ承リタウゴザイマ
スガ私ハ此處ニ地方鐵道法ノ元ノモノヲ有ッテ居リ
マスルカト思ッテ調べテ見マシタラ持ッテ居リマセ
ヌガ、參考トシテ下サイマシタ現在ノ軌道條例ノ中
ノ四條ニ「地方鐵道法第六條ノ規定ハ軌道ニ之ヲ
準用ス」トアリマスガ、此六條ハ何デシタカ

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ御尋ネハ現行ノ軌
道條例ニ於テ……
○石黒五十二君 イヤ御尋ネ致シマシタノハ地方
鐵道法ノ第六條ガドウ云フ規定デアツタカ、チヨッ
ト私ハ覺エマセヌカラソレヲ承リタイノデアリマ
ス

○政府委員(堀田貢君) 地方鐵道法ノ第六條ハ「
地方鐵道會社ハ株金全額拂込前ト雖監督官廳ノ認
可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル共資

本ヲ増加スルコトヲ得」云々ト云フ其規定デアリ
マス、デ今度モ此規定ハ明カニ之ニ入レテ規定シ
デアリマス

○石黒五十二君 本規定ノ中ニ、一體ノ會社成立
イタシマスノハ、一般ノ商法ニ依レバ四分ノ一拂
込デアリマスガ、是ハ特ニ十分ノ一拂込デ會社ノ
設立スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマスノハ、
鐵道同等ト看做スコトカラ出來テ居ルノデゴザイ
マスガ

○政府委員(堀田貢君) 全ク御尋ネノ通り鐵道ト
同様ニ一面ニ於テハ嚴重ナ監督モヤッテ居ルト云
フヤウナコトデアルシ、ソレカラ又他ノ一面ニ於
テハサウ一時ニ多額ノ資本ヲ必要トセヌト云フヤ
ウナ關係ガアリマスノデ、ソレデ鐵道ト同様ニ扱
フ、斯ウ云フコトニシタノデアリマス

○石黒五十二君 尙ホ進ンデ御尋ネヲ致シ置キタ
ウゴザイマスガ、詰リ地方鐵道ノ第六條ニ依リマ
シテ社債ヲ造ルト云フ場合ニ於キマシテハ、全部
拂込マシタモ既ニ拂込シタ金ダケニ當ルノモノハ
出來ルト云フヤウナコトガ、矢張りアルノデゴザ
イマスナ

○政府委員(堀田貢君) 左様デス、全ク此點ハ地
方鐵道ト同様ニナッテ居リマス

○委員長(伯耆松木宗隆君) 本案ニ依リマスルト
國又ハ公共團體ガ必要トスル時ニハ何時ニテモ之
ヲ強制買收スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ
居リマスルガ、是迄ハ此強制處分ニハドウ云フコ
トニナッテ居リマスルカ或ハ多少其年限デモ見テ
居ッタモノデアリマセウカ

○政府委員(堀田貢君) 今迄ト雖モ特許命令ニ於
テ國又ハ公共團體ニ於テ公益ノ爲メ軌道其他營業
上必要ナル物件ノ全部若クハ一部ノ專用又ハ買收
ヲナサントスル時ハ特許ヲ受ケタルモノハ之ヲ拒
ムコトヲ得ズ但シ之ニ對シ保證ヲ求ムルコトヲ得
ルト云フヤウナ命令ヲ附ケテ特許ヲシテ居ッ
デアリマスルガ、是ニ付テハ隨分學問者ノ間ニモ
議論ガアリマスノデ、一體單ニ一片ノ命令デサウ
云フコトヲ命令シタカラト云ウテ果シテ會社ノ方

デソレニ應ゼネバナラヌ義務ガ發生スルモノデア
ラウカ、ドウカ、多少疑問デアルト云フヤウナ議論
ガアルノデアリマス、ソレデ今度ハ法律ニ於テ其
事ヲ明カニ致シマシテ、公益上必要ト認メル時ハ
何時デモ買得ル、併ナガラ無論相當ノ價ハ是ニ支
拂ハシムル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、
從來ノ例ヲ申上ゲマスレバ強制シテ買収シタト云
フ例ハナイノデアリマス、皆矢張り協議デ買収ノ
契約ガ出來マシテサウシテ市營ニナルト云フヤウ
ナ段取ニナツテ居リマス、東京ニ於テモ、或ハ過般
實行致シマシタ横濱ニ於テモ、其他神戸等ノヤッタ
場合ニ於テモ、皆協議デ總テ買収ガ行ハレテ居リ
マス、是ハ實際問題ノ例ヲ申上ゲマシタ次第デア
リマス

○石黒五十二君 自分ノ甚ダ頭ガ鈍イセイデアリ
マスカ分リマセヌガ、此一般交通ノ用ニ供スル軌
道ハ此法デ行キマスガ、此第二項ノ一般交通ノ用
ニ供セザルモノハ命令ヲ以テ定メルタル、是ハ
ドウ云フ譯デゴザイマス、特ニ命令ヲ以テ定メ
ナケレバナラヌ理由ハ何處ニアルカ

○政府委員(堀田貢君) 御答致シマス、一般交通
ノ用ニ供セザル軌道ニ付テハ別々ニスル嚴重ナル
規定ヲ置イテ、或ハ保護ヲ與ヘ或ハ監督ヲ嚴重ニ
スル必要ガナイ輕易ナル極メ方ヲシテ、命令ヲ以
テ足レリト見タノデアリマス

○男爵宇佐川一正君 此軌道經營者ハ最初思立ッ
テ斯ウ云フ計畫ヲスル上ニ付テ全體道路ノ幅ト云
フモノハ幾ラナケレバナラヌト云フ一定ノ一ツ定
義ハナイノデスカ、唯軌間ノ全部左右各二尺……
○政府委員(堀田貢君) 此軌道ヲ特許致シマスニ
付テハ道路ノ幅員ハ近來ニ至ツテ殊ニ考慮ヲ拂ッテ
居ルノデアリマシテ、從來自動車ト云フヤウナ高
速度ノ而カモ幅ノ廣イ交通ノ利器ガ發達セザル時
代ニ於テハ、餘リ廣クナイ道路ニモ軌道ノ特許ヲシ
テ居ッタノデアリマス、ガ併シソレヲナスニ付テモ
或ル幅員ヲ缺イテ居ルヤウナ道路ニ付テハ陸軍當
局ト能ク打合セヲシテ、陸軍省ガソレデ差支ナイ
ト云フ場合ニ許可ヲシテ居ルヤウナ風ニシテ居リ

マシタ、併シ是迄ハ今日カラ見レバ少シ狭イ道路
ニ許シタ、餘リ狭イ道路ニ許シタト云フ考ヲ起ス
ヤウナ軌道モアリマス、ソレデ今後ハ相當廣イ道
路デナケレバ容易ニ許サヌガ宜カラウカト云フ考
ヲ有ツテ居リマス、此軌道ノ外二尺ト云フノハ軌道
業者ニ於テ維持修繕ヲスル區域ヲ申シマシタノデ、
其以外ノ道路トシテ十分ニ使ヒ得ル相當ノ幅員ハ
皆持ッテ居ル次第デアリマス、今迄最モ狭イ例ヲ申
上ゲマスルト道路ノ幅、尤モ是ハ單線軌道デアリ
マスルガ、道路ノ幅四間位ナ所ニ許シテ居ル例ガ
アリマス、是ハ其人家ノアル所デアッテ、人家ノナイ
所デハ三間位ノ所デ許シタ例モアリマス、今後ハ
サウ云フ狭イ所ハ許シタクナイ、或ハ企業者ガ相
當ノ擴張ヲシタ場合ニ於テノミ許スト云フヤウニ
セヌケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○麻生太吉君 先刻御尋ガアリマシタガ、ソレガ
ハッキリ致シマセヌカラ、チヨット御尋シマスガ、此
第九條ノ國ガ買収致シマス時ニハ鐵道法ノ第三十
一條ニ依ツテ是ハ規定ガゴザイマスルカラ、三年跡
ニ遡ツテ是ガ價格ノ標準ガ立ッテ居リマスガ、公共
團體ガ賠償スルト云フ場合ニハ、三十一條ノ適用
デナクシテ、賠償價格ハ協定ニ依ツテヤルト云フコ
トデアリマスカラ、公共團體ガ賠償イタシマス場
合ニハ、二年デナクシテモ賠償ガ出來得ルヤウニ
見エマスガ、ソレハ如何デスカ、ソコガハッキリ致
シマセヌ

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ御尋ノ通りデアリ
マス、從來ノ實際ノ例ヲ見マシテモ、單リ地主ノ協
議ニ依ツテ賠償シテ居ルト云フヤウナ風ニナツテ居
リマスノデ、先ヅ以テ協定サセテ、協定ガ出來ヌ時
ハ主務大臣ガ裁定スル、裁定スルコトハ大体地方
鐵道ノ精神ヲ酌ンデ、ソレヲ標準トシテ裁定スル
ト云フコトニ致シマシタ

○岡田文次君 先刻ドナタカラカ御尋ガアリマシ
タ第一條第二項ハ法律ヲ要スル事項モ、一般ノ公
共用ニ供スルモノモ命令ヲ以テスルト云フノデア
リマスナ、法律ヲ要スル事項ハ命令ヲ以テ規定ス
ル

○政府委員(堀田貢君) 是ハ唯今ノ御尋ノ通りノ
考ヘデ此規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

○男爵宇佐川一正君 又前ニ戻リマスガ、主務大
臣ト云フコトハ、或ルモノニ付テハ鐵道大臣ニハ
關係ナク内務大臣デ實行ガ出來ルト云フ譯デアレ
バ、主務大臣ト云フモノハ、關係ノ内務大臣トカ
或ハ鐵道大臣トカ云フヤウニナサツタ方ガ御便利
デハナイデスカ

○政府委員(堀田貢君) 此法律案ニアル主務大臣
ハ今ノ兩大臣ヲ指ス考デアリマス、多分唯今ノ御
尋ハ軌道法ノ附則命令ノ中ノ一號ノ第二項ニ關シ
テハ内務大臣ノ定ムル所ニ依レバ、斯ウ書イテ置
キマシタカラ、起ツタコトト存シマスガ、是ハマダ
實ハ細カイコトニマデ行ッテ居ラヌノデアリマシ
テ、大體サウ云フコトヲ規定シテ、是ハ先ヅ斯ウ云
フコトヲ規定スル考デアルト云フコトヲ御參考ニ
御示シテ置キタイ爲ニ作ツタノデ、今後此規則ハド
ウ云フ風ニシテスルカハ、篤ト研究シテヤッタ方ガ
宜カラウト思ヒマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) サウ致スト軌道法案
ノ主務大臣ト云フノハ、内務ト鐵道ノ兩大臣ニ係ッ
テ居リマスカ

○政府委員(堀田貢君) 内務鐵道ノ兩大臣デス、
之ニ付テハ尙ホ現在ノ取扱振リヲ簡單ニ申シマス
レバ、或ハコンナコトニナラウカト存シマス、昔ハ
軌道ノ特許ト云フモノハ、内務大臣ダケデアッテ居
リマシタ、詰リ道路ヲ使用スル、道路ノ補助機具ト
シテノ軌道機具デアラカラト云フ意味デアッタト
思ヒマス、内務大臣ダケデアッテ居リマシタ、其後
ガ當時ノ鐵道院ガ矢張り關係スルコトニナリマシ
テ、一般ノ鐵道事業ノ上ニモ運輸交通上ノ關係ガ
アルト云フ點カラシテ、鐵道院デ關係スルコトニ
ナリマシテ、詰リ内閣總理大臣ト内務大臣ト兩大
臣ノ名ニ於テ特許シテ來タモノデアリマス、併シ
實際ニ重キヲ置イテ、御互ノ調ベル點ハ何處ニア
ルカト云フト、矢張り本來ノ性質ニ立展ッテ道路ノ
關係ハ主トシテ内務省デ調べ、運輸トカ、運賃ト
カ、サウ云フ風ナ事柄ハ主トシテ鐵道ノ方デ調べ

テ、兩方ノ知識ヲ持寄ッテ先ヅ完全ナ監督ヲシヤ
ウ、斯ウ云フ風ニシテ居リマス、現ニ車輛ノコト、機
械ノコトニ至リマシテハ、鐵道ノ方ニハツレ、
專門ノ立派ナ技術者モ居リマス、ツレニ重キヲ置
イテヤラナケレバ適當デアリマセヌシ、併シ又道
路ノ幅員ヲ決定スル、一般道路ノ專用ノ關係ニ付
テハ、是ハ內務省ノ内輪ノ手續デアリマスガ、土木
局ニ於テ道路專門ノ技術家ガ居ル、其方面ノ平生
行政ニ携ハッタ人間ガアリマスカラ、サウ云フ關係
ハ內務省ノ方デ重キヲ置イテヤル、其點ニ關スル
意見ニ付テハ鐵道省ニ於テモ內務省ノ意見ニ讓ル
ト云フヤウニシテ、御互ニ知識ヲ持寄ッテ一緒ニ關
係スル、形ハ兩大臣ノ名ニ於テ總テヤッテ居ル次第
デアリマス

○委員長(伯爵松木宗隆君) チョット素人ノ考ヘ
デハ、鐵道ノ方モ交通運輸デアリマスシ、此軌道法
モ矢張り交通運輸デアリマス、是ハ道路ノ關係ガ
アリマスガ、素人考デハ政府ノ統一上鐵道ノ方デ
統一シタ方が便宜ノヤウニ思ヒマスガ、此鐵道ト、
ツレカラ軌道デスナ、是レノ明確ニ異ッテ居ル出
發點ヲ伺ヒマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノヤウナ質疑ハ、衆
議院ノ委員會ニ於テモゴザイマシタ、而カモ衆議
院ニ於テハ兩様ノ質問カ起リマシタ、全ク唯今御
述ベニナリマシタト同様ノ質問ヲサレタ方モアリ
マス、處ガ是ト反對ニナセ鐵道省ノ分掌ニスルカ、
道路補助機關トシテ道路ノ事ヲ主管シテ居ル內務
省ダケデヤラヌカト云フ、兩様ノ質問ガ衆議院ニ起
リマシタ、ツレデ本委員ヨリ是ハ兩方ニ於テ主管
セヌト、事務ノ處理上困ル事柄デアルト云フコトヲ
詳シク申上デマシテ了解ヲ得マシタ次第デアリマ
ス、是ハ唯今政府ニ於テ地方鐵道法ヨリ軌道法ヲ
獨立セシメテ立法シ、而シテ又此所管ニ內務鐵道
兩省ニ屬セシメテ置クト云フ理由ヲ申上ゲテ御參
考ニ供シタイト思フデアリマス、成程此軌道ト
地方鐵道ト、共ニ一般交通ヲ目的ニ致シテ居リマ
スノガ趣旨デアリマスカラ、既ニ制定シテアリマ
スル地方鐵道ノ方ノ一部ヲ改正シテ、サウシテ本

法ヲ之ニ包含セシメタ方が便利デナイカト云フ議
論ガアルノデアリマス、先刻申シマシタ通り……
併シ政府ノ見ル所デハ、軌道ト地方鐵道トハ本質
上全ク其趣キヲ異ニシテ居ル以上、之ヲ沿革ヨリ
見マスト、軌道條例ト云フモノハ、先程モ申上ゲマ
シタ通り明治二十三年ノ制定ニ係ルモノデアリマ
シテ、一般運輸交通ノ便ニ供スル馬車鐵道、其他之
ニ準ジマスル軌道ハ、內務大臣ノ特許ヲ受ケ、公共
道路上ニ敷設スルコトヲ許シタノニ始ッテ居ルノ
デアリマシテ、明治三十三年私設鐵道法ヲ制定シ
テ一般運輸用ニ供スル私設鐵道ニ關スル規定ヲ設
ケタル際ニ於キマシテモ、軌道條例ニ據ル軌道ハ
之ヲ除外イタシテ、別ニ私設鐵道法ノ中ニ規定ス
ルト云フコトハセズニ來タノデアリマシテ、又明
治四十二年輕便鐵道法ヲ制定イタシマシタケレド
モ、是亦軌道條例ニ對シテハ何等ノ變更ヲ加ヘル
コトナク、又大正八年地方鐵道法ヲ制定ヲ致シマ
シタケレドモ、軌道條例ニ規定スルモノヲ除キ適
用スルコトヲ明ラカニ規定シタノデアリマス、斯
ノ如キ其沿革カラ見テモ、從來是ハ兩者ヲ區別シ
テ取扱ッテ來テ居ルト云フコトニナッテ居リマス、
更ニ之ヲ實質上ヨリ見マシレバ、軌道ハ途上ヲ運
轉シテ歩ク自動車ト全ク其性質ヲ同ジウシテ、道
路ノ補助機關タル性質ヲ有シテ居ルノデアリマ
ス、即チ道路ヲ步行ニ依ッテ利用スルカ、又ハ機械
力ヲ利用シテ道路ヲ使フカト云フ相違ガアルノミ
デアリマシテ、道路ヲ利用スル點ニ於テハ、二者全
ク同一ノモノト云ハヌケレバナラヌ、此點ニ於テ
軌道ハ道路ノ補助機關タル性質ヲ有シテ居リマシ
テ、道路ヲ離レテ特別ニ存在スル地方鐵道トハ大
ニ趣キヲ異ニシテ居ル點デアリマス、又之ヲ形式
上ヨリ致シマシレバ、軌道ハ道路ノ補助機關タル
性質ヲ有シテ居リマスカラ、之ヲ道路ニ敷設スルコ
トヲ便宜トシテ居ルノデアリマス、然ルニ地方鐵
道ニアッテハ道路ニ敷設スルコトヲ禁止シテ、例
外トシテ已ムコトヲ得ザル場合ニ限ッテノミ、內務大
臣ノ許可ヲ受ケテ道路ニ敷設シテ居ルニ過ギヌノ
デアリマス、地方鐵道ノ第四條ニアリマス、其兩者

ノ間ノ本質上ノ差異ヨリ生ズル形式上ノ相違ト云ッ
テ宜カラウト思ヒマス、隨テ動力ナリ、或ハ軌道
ノ軌條ト軌條ノ間、機關ナリ、或ハ車體ナリ、列車
ナリ、停留場ノ設備ナリ、兩者ガ全然趣キヲ異ニシ
テ居ル、斯ノ如キ法令ノ沿革ヨリ見マシテモ、亦實
質上、竝ニ形式上ノコトヲ以テ見マシテモ、同一的
ニ制定シテ、サウシテ或鐵道省ナラ鐵道省ノミデ
之ヲ監督スルト云フコトハ當ヲ得ナイ、成程理想
カラ申上ゲマスレバ、道路ノ如キ、港灣ノ如キ、鐵道
ノ如キ、總テ之ヲ統一シテ交通省ト云フヤウナモ
ノデモ設ケテ、一ツノ大臣ノ下デ、一ツノ省デ取扱
フナラバ宜イカモ知レマセヌケレドモ、今日ノ行
政組織ニ於テハ道路ヲ主管スルモノハ內務大臣
トナッテ居リマス以上、道路ト密接離スベカラザ
ル關係ニアル軌道ヲ內務大臣ノ手カラ離スト云フ
コトハ、實際ノ仕事ヲナシ、監督ヲナス上ニ於テ却
テ累ヒヲ來ス元トニナラウト思ヒマス、若シ今日
鐵道ヲ道路ノ上ニヤラウト云フコトニナリマスレ
バ、一々內務大臣ニ相談ヲシ、內務大臣ノ免許ヲ得
ナケレバ出來ヌノデアリマス、兩者ノ特許ヲ得ナ
ケレバナシ得ヌノデアリマス、又衆議院ノ或ル議
員ノ意見ノ如ク、內務省ダケニナルト、是亦甚ダ不
都合ヲ來ス、何トナレバ運輸ト云フヤウナコトニ
付キマシテハ、鐵道省ガツレ、權威アル專門家
ヲ有シテ居リマス、又此運輸關係ニ於テハ、國有鐵
道、或ハ交通、其他ノ關係上ニ於テノ場合モアリマ
ス、是等ヲ管理シテ居ル鐵道省ニ於テ自分ノ知ラヌ
間ニ、或ハ影響ヲ受ケルカモ知レヌト云フ軌道ガ
ドシ、特許ニナルト云フコトニナッテモ是モ國
政上如何デアルト、斯ウ云フコトヲ矢張り今日マ
デ取扱ッテ居リマス通り、兩省ノ所管トシテ、兩
大臣ノ特許ヲ受ケルト云フコトニシタラ宜カラウト
云フノデ、地方鐵道トモ違フ譯デアラカラ、ドチ
ラノ一省ト云フコトデナク、二省デ取扱フヤウニ致
シタノデアリマス

○麻生太吉君 先刻能ク第九條ノ意味ニ付テハ御
辯明ガゴザイマシタカラシテ、ツレデ大要分ッテ居
リマスガ、尙ホ細カニ御尋ネヲ申上グル意味ハ「軌

道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地トナスコトヲ得」斯ウ云フコトノゴザイマスノハ、其軌道經營者ガ軌道ヲ敷設シタモノハ道路敷地トナツテモ何等故障ノ無イコトト心得テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(堀田貢君) 是ハ先刻別席ニ於テ麻生サシニ大體説明申上ゲマシタノデアリマスガ、其點デ先刻話ガアツタト云フ意味ノ御尋デアリマスカ

○麻生太吉君 イエ先刻大體ノコトニ付テ御話ノアリマシタ、ソレデ大要分ツテ居リマスガ、尙ホ是デ見マスルト、敷地ガ道路ニナルト云フ疑ガアリマス、或ハ此道路ニナルト云フコトハ斯ウ云フコトハアラウト思ヒマス、其時ニ軌道ガ其道路ニ敷設ヲシテ居ル、ソレハ何等故障ハ無イト云フ意味デアルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今御尋ノ通り專用軌道敷地ガ既ニ特許ニナツテ、敷カレテ居ル、其處ヘ道路ヲ造ツテ、唯無償デ道路敷地トシテ、軌道ヲ敷イタ儘造ルト云フ意味デ、別ニ道路ヲ造ツタカラ軌道ハ脇ニ行ケト云フ意味ハ含ンデ居リマセヌ

○男爵宇佐川一正君 今ノ所デアリマスガ、此軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ」ト云フ事柄ハ他ノ法文カラ見ルト、命令書ノコトナドト照シ合シテ見ルト、無論此敷地トセヌナラヌコトニナツテ居リマセヌカ

○政府委員(堀田貢君) 從來ハ命令書等デ專用軌道敷地等モ道路ト見テ居ッタノデアリマスガ、併シ是ハ今日ノヤウナ時勢ニ何等道路トシテ平素使用セヌ其土地ヲ道路トシテ見ルト云フヤウナコトハドウデアアラウカト云フノデ、今回ノ法律案ニ於テハ別ニソレヲ直ニ道路ト見ルト云フコトニハナラヌノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ規定ノ必要ガ起ツテ來マシタ、是ハドウ云フ場合ニ必要ガアルカト申シマスレバ大都市ノ附近等デ軌道ヲ特許スル場合ニ於テ實ハ出來ルナラバ、幅ノ廣イ道路ヲ造ラシテ其真中ニ許シテ置ケバ、宜イノデアリマスケレドモ、ソレハ軌道業者ニ酷デアラウ、サウ云フ場

合ニハ先ヅ以テ專用軌道ナラ、專用軌道ダケデ、ソレヲ特許シテ、サウシテ他日若シ市區改正、其他都市計畫等ノ關係デ其處ガ道路ニナルト云フ場合ニ於テハ其兩側ヲ擴メルトカ、片側ヲ擴メテ、詰リ軌道ト道路ト並用セシムルト云フコトガ今後ニ於テハ必要デアラウ、サウデナケレバ、今日ニ於テ必要デナイ所ヲ造ラシメルトカ、或ハ高架デナケレバ、イカヌト云フヤウナ無理ナ注文モ出ナイトモ限リマセヌ、御承知ノ通り都市ノ内部ニ於テハ、交通頻繁ナ大都市ニ於テハ專用軌道敷地、即チ道路ニ並用セザル軌道ト云フモノハ成ベク許サヌ方針デ居リマス、其方針カラ見テ、矢張り斯ウ云フ規定ガ無イト、旁、不都合ガ起リハセヌカト云フノデ此規定ヲ置イタ次第デアリマス

○男爵宇佐川一正君 大都市ヤ何カニ付テハサウ云フヤウナ關係モアリマセウガ、概シテ僅ニ道路ガ狹クナツテ、其間ヲ僅カ改廢シテ線路ヲ曲線ニスルト云フヤウナ關係カラ是ハ自然ト道路ノ敷地ニナルト云フヤウニドウモ讀メル、ソコデ「得」トアルト、意味ガドウ云フ關係ニナリマスカ、其間餘ホド道路ノ監理者ト協定シテスル時モアリ、セヌ時モアル、斯ウ云フ解釋テ宜シイカ

○政府委員(堀田貢君) 是ハ先ヅ以テ軌道經營者ガ既ニ全ク自分ダケデ軌道ヲ新設致シタ、サウ云フ場合ニアトカラ今度ハ道路管理者ノ方デ其處ニ道路ヲ設ケタイト云フ時ニ起ル事柄デアルノデ、道路管理者トシテ、其處ニ道路ヲ設ケル必要ガナケレバ、勿論斯ウ云フ問題ハ起リマセヌ、其處ニ道路ヲ設ケタイト云フコトニ實際問題トシテナリマスレバ、今度ハ管理者ハ軌道業者ニ交渉シテ、アスコブズット軌道ニ沿ウテ道路ヲ設ケタイ、サウスレバ貴様ノ軌道ノ敷地ハ道路敷地トシテ使ヒタイト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレデ軌道業者ガ聽カヌト云フ場合ニドウナルカト云フ場合ノ規定ガアル、「敷地ト爲スコトヲ得」トシテゴザイマスガ、是ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケサセル考デアリマス、此軌道敷地トナス場合ニハ主務大臣ノ認可ヲ受ケレバ、軌道業者ガ不本意デアツテモ其處ヲ鐵道敷地

トシテ使ハセル考デアリマス
○委員長(伯爵松木宗隆君) 第十九條ノ此買收方法ニ付テデアリマスガ、三十一條乃至三十五條ノ規定ニ依ツテ國ガ買收スル、所ガ先刻麻生君カラノ御質問モアリマシタ如ク此三十五條ハ今日一方ニ地方鐵道法中改正案ト云フモノガ提出セラレマシテ而シテ其三十五條ト云フモノハ五十五箇年ト云フ年限ガ加ヘラレルコトニナツテ居リマスガ、若シ其改正案ガ通過イタシマスレバ、從ツテ其適用ヲ受ケルコトニナリマスルガ、斯ウナツテ見マスルト、不利益ヲ生スル、買收セラレルモノガ不利益ヲ生スル結果ニナルガ此計算ノ方ハドウ云フ具合ニナリマス

○政府委員(堀田貢君) 今日既ニ此地方鐵道法ノ改正案モ出テ居ルノデアリマスガ、其改正案ノ通り軌道モ同ジ步調ヲ取ツテ行ツタ方ガ宜イノデ之ヲ準用スルト云フコトニ致シマシテ、唯公債ノ償還期間ノ事柄ヲ地方鐵道ニ今年入レルコトニシヤウ、同一ノ問題デアリマスルカラ此軌道ノ關係ニ於テハ地方鐵道ガ斯ウ云フ風ニ改正ニナレバ、改正ノ其モノヲ準用シ、改正ニナラヌトシマスレバ、此改正ニナラヌ現行ノ儘準用サレルコトニナルノデアリマシテ、ドチラニシテモ兎ニ角地方鐵道ト同ジ歩ミカラシテ行ツタ方ガ適當ナリト考ヘテ、斯ウ云フ風ニ準用スルコトニ致シタノデアリマスカラ、別々軌道ノ方カラ見テ格別損トカ徳トカ云フ問題ハ起ラナイト思ヒマス、一方ニ支出スル其方モ地方鐵道ニ直リマスガ、ソレモ此方ノ準備ニナルノデアリマス……唯今少々取違ヘテ居リマシタガ、要スルニ地方鐵道ト同ジヤウナ規定ニナレバ宜イト云フ考デ、之ヲ出シタ次第デアリマス

○石黒五十二君 御伺ヒ致シマスガ、此軌道ヲ買收シタ例ハ澤山アリマスガ、若シアリトシマシタナラバソレヲ買收シマス間ニ要シマシタ時間ハドレ位掛ツテ居リマスガ、私ガ此事ヲ御尋ネ致スノハ曩ニ鐵道デアリマスガ、國有鐵道ニ株式會社カラ買上ゲラレタ際ニハ替ヘル所ノ公債ハ精算ガ出來ルト出來ナイトニ拘ラズ、買收スル國有ニスルト云フ契約ヲシテカラ利子ヲ拂ツテ居リマス、然ルニ

今度ハ昨年買収シタ鐵道ガ既ニ半年以上モ立チマ
スケレドモガ、公債モ下付サレズ、株式會社營業會
社ニアツタ際ニハ半箇年ニ株主ガ貰ヘマスガ、地方
鐵道ノ方ハ貰ヘナイカラ、其問題ハヤカマシイト
思フ、御尋ネシマスノハ即チサウ云フコトノナイ
ヤウニ望ミタイト思ヒマス爲ニ御尋ネスルノデア
リマスガ是ガ軌道ヲ買収シタト云フワレ等ノ時間
ハドレ位掛ッテ居リマスカ、一應承リタイト思ヒマ
ス

○政府委員(堀田貢君) 此買収シタル例ハチヨイ
チヨイアリマス、併シ皆強制買収デハナクシテ協議
買収ニナツテ居リマス、御承知ノ東京市神戸市京都
市横濱等ガ今日マデ既ニ市營トナツテ居リマス、其
買収ノ期間ト云ヒマスカ、買収ヲスル期間ガ長ク
ナツタトカドウカト御尋ネノヤウデアリマス、市營
ニスルトカ何トカ云フコトハ二十年或ハ十數年モ
掛ッテ居リマセウガ、愈々相談ガ成立ッテ契約ガ出來
サヘスレバ、其後ハ單ニ一面ニ於テ契約ニ基イテ
軌道及ビ軌道ノ附屬物件ヲ引渡スト云フ行爲ヲナ
ス期間、他ノ一面ニ於テハワレニ對スル代價ヲ或
ハ市價ヲ以テ或ハ其他ノ方法ヲ以テ仕拂フト云フ
相談ヲスル期間サヘアレバ宜イノデアリマシテ、
從來ハ多小遷延シテ唯今御尋ネノ如キ場合ガアッ
タヤウニ聞イテ居リマスガ將來ハ左様ノコトノ
ナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、現ニ此四
月一日カラ市營ニナリマシタ横濱ノ軌道ノ如キハ
許可ヲ何デモ二月ノ末日ニヤッタヤウニ記憶シテ
居リマスガ、是ハ一箇月デ結了シヤウト云フ見込
デ今運シテ居ルヤウナ次第デアリマス、從ッテ將來
外ニ買収ト云フヤウナ事柄ガゴザイマシテモ、先
ヅ一箇月乃至二箇月位デ結了スルト云フ御考ヲ御
持チシテ載ケバ宜イカト思ヒマス

○石黒五十二君 鐵道ト違ヒマシテ軌道ノ分ハ今
御話ノ如ク協議ヲ遂ゲテヤルト云フコトハ餘程密
ニ出來ルカノヤウニ思ハレル、就キマシテハ唯今
例ニ御出シニナリマシタ市街ノ電鐵ノ如キハ四月
一日カラ横濱ノ市營ニナリマスレバ、四月一日ヲ
以テ契約ガ有効ニナツテ四月一日ニ市債ナリ何ナ

リデ取替ヘラレルノデアリマスカ、市債其他ノモ
ノデ買収スルコトガ四月デ非ズシテ十月ニナリ或
ハ十一月ニモナツタリスルコトハナイノデアリマ
スカ、其邊ハ如何デアリマスカ、伺ッテ見タイノデア
リマス

○政府委員(堀田貢君) 既往ノコトハ唯今何等調
書ヲ持ッテ居リマセヌデ御答イタシ兼ネマスガ、横
濱ノ如キハ既ニ起債ノ認可マデ内藏兩大臣カラ得
テ居リマスカラ、是ハ四月一日ナラ一日ニ渡シ得
ルコトト存ジマス

○麻生太吉君 此第十九條ノ國ガ此軌道ヲ買収ス
ルト云フモノハ政府ニハ唯今多少御腹案ノアル所
ガゴザイマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今政府ニ於テ今御尋ノ
如キ場合ヲ豫想シテ居ラヌサウデス

○麻生太吉君 モウ一ツ其事ニ付キマシテ御尋イ
タシマス、此鐵道ノ第三十五條ト云フモノハ改正
案ガ出シタガ、以前ハ公債ノ年限ガ無カッタガ、五
十五年ト云フコトニナツタノデアリマスカラ、此軌
道ノ公債ガ鐵道ノ三十五條ノ規程ヲ準用サレルト
云フコトニナリマス、此買収ノ場合ニ非常ニ軌
道ノ人ガ迷惑セヌカト云フコトガ御心配ノヤウデ
アリマスガ、政府ハマダ御腹案ガナイトスレバ公
共團體ノ買収スルモノハ總テ三十五條ニ依ラシテ
強制シテ、或ハ市ナラバ市債ヲ起シテツレバ渡スト
斯ウ云フコトデアリマスカラ、何等企業者ニ迷惑
ヲ掛ケルコトハナイト心得テ宜シイノデゴザイマ
ス

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ所ハ今御尋ノ通り
何等買収シヤウト考ヘテ居ル軌道ハナイ次第デア
リマシテ、實際問題トシテ此十九條ノ第一項ノ場
合ハ先ヅ今日デハ起ラヌモノト見テ居リマス、將
來起ル場合ニ斯ウシヤウト云フ規定ヲ豫備的ニ置
キマシタダケデアリマス

○石黒五十二君 御質問ハ大低盡キタヤウデアリ
マスガ、本日尙ホ引續イテ討議ニデモ御移リニナ
リマセウカ、モウ一回御開キデゴザイマセウカ、如
何デゴザイマス

○委員長(伯耆松本宗隆君) 如何デセウ、諸君ノ
御考ハ……別段御質問ガナケレバ今日討議ニ移リ
タイト思フノデスガ如何デセウ

○石黒五十二君 委員長ノ御考ヘガ左様デアリマ
スレバ敢テ異議ハアリマセヌ、併ナガラ慎重ニ之
ヲ審議イタシマス上ニ於キマシテ、明日ナリ明後
日ナリモウ一回御開キニナツテ討議ヲ御ヤリニナッ
テ決議ヲナサレタラ如何ト考ヘマス、併シ委員長
ノ御考デ今日御繼續ニナリマスレバ何等異議ハゴ
ザイマセヌ

○委員長(伯耆松本宗隆君) 諸君ニ御諮リ致シマ
スガ唯今石黒君カラ尙ホ一層審議ヲ重ネル爲ニモ
ウ一度委員會ヲ開イタラ如何ト云フ御説デアリマ
シテ、諸君ニ於テ別段御異議ガゴザイマセヌケレ
バ委員長モ石黒君ノ御説ニ依リマシテ今日ハ採決
ヲ延シタイト思ヒマス、如何デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯耆松本宗隆君) 然ラバ今日ハ是デ散
會イタシマス

午後二時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯耆松本 宗隆君
副委員長 男爵宇佐川 一正君
委員 子爵大給 近孝君
男爵神山 郡昭君
石黒 五十二君
安樂 兼道君
岡田 文次君
麻生 太吉君

政府委員

內務省土木局長 堀田 貢君

大正十年四月六日印刷

大正十年四月七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局